

2 出稼対策事業

(1) 出稼の概要

当市の出稼労働者数は、昭和49年の8,489人をピークに減少傾向が続いている。

今後も出稼労働者の高齢化による引退などの要因により、出稼労働者数は年々減少していくものと見込まれる。出稼先における賃金不払、労働条件によるトラブルなどの諸問題は、最近では少なくなってきた。

①出稼労働者数

		令和4年度 (人)	令和5年度 (人)	対前年度比 (人、%)	
総 数		47	41	△6	△12.8
就労形態	夏 型	2	3	1	50.0
	冬 型	25	31	6	24.0
	通年型	20	7	△13	△65.0
性 別	男	41	36	△5	△12.2
	女	6	5	△1	△16.7

・市人口対比 4108.9 : 1 (令和2年国勢調査人口 168,466人)

・就労人口対比 2020.1 : 1 (令和2年国勢調査就労人口 82,826人)

・農林業兼業者 10人 (出稼労働者総数に占める割合 24.4%)

②就労地

(単位：人)

都道府県	愛知県	埼玉県/ 神奈川県	東京都/ 長野県/岐阜県	その他	合 計
出稼労働者数	12	5	3	10	41

③就労業種

(単位：人)

	農林水産業	建 設	製 造	運輸通信	その他	合 計
男	0	15	6	10	5	36
女	0	0	3	0	2	5
合計	0	15	9	10	7	41

④年齢構成

(単位：人)

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	合 計
男	1	0	0	4	13	18	36
女	0	0	0	0	1	4	5
合計	1	0	0	4	14	22	41

(2) 出稼援護事業

出稼労働者に対する安定的就労と作業環境の安全衛生を確保し、福祉の向上を図るため出稼援護対策を実施している。

①相談活動 就労前の指導、各出稼援護対策のPR、相談受付

＜市民課、商工労政課、各総合支所、各出張所＞

②健康診断の実施 ※自己負担額 3,800 円

- 対 象 出稼労働者手帳を持っている弘前市民
- 受診日時 隨時
- 受診方法 出稼労働者手帳を持って直接指定医療機関の窓口へ
- 検査項目
- ①既往歴及び業務歴の調査
 - ②自覚症状及び他覚症状の有無の検査
 - ③身長、体重、視力、聴力の検査
 - ④胸部X線検査
 - ⑤血圧測定
 - ⑥血液一般検査
 - ⑦肝機能検査
 - ⑧血中脂質検査
 - ⑨代謝系検査
 - ⑩尿検査
 - ⑪心電図検査

健康診断受診実績

(単位:人)

年度	受診者数
平成 29 年度	61
平成 30 年度	43
令和元年度	41
令和 2 年度	19
令和 3 年度	22
令和 4 年度	19
令和 5 年度	14